

1位と2位はわずか一点差!

2015年版「住みたい田舎」ランキング発表!

1位は島根県、2位は鳥取県がランクイン!

雑誌販売部数トップシェアの株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)が発行する『田舎暮らしの本』は、12月29日(月)発売の2月号で、「2015年版 住みたい田舎ベストランキング」を発表します。

「住みたい田舎ランキング」は、定住促進に積極的な295市町村を対象に、10ジャンル全95項目のアンケートを実施。“田舎暮らしに最適な自治体”をランキングしました。アンケート項目は、田舎暮らしの実現に重要なポイントとなる「自然環境」「移住者支援制度の充実度」「子育てのしやすさ」「医療介護体制の充実度」などを設定しました。

第3回を迎える今回のランキングは島根県大田市が総合1位で、「移住者支援制度が充実」「就職・就農支援が手厚い」「子育てのしやすい環境」などの理由から選ばれました。次いで鳥取県鳥取市が2位、大分県豊後高田市、鹿児島県薩摩川内市が同率3位、佐賀県武雄市が5位という結果になりました。総合ランキングの他に、読者ニーズに合わせ「子育て世代にぴったりの田舎」や「シニア世代が暮らしやすい田舎」「週末に通える田舎」など計7つの部門別ランキングも発表しています。政府が地方創生を重点政策に掲げるなか、自治体も移住者支援制度に力を入れており、また、近年は若い世代の田舎暮らしも増えていることから、今後も田舎暮らしに注目が集まることが予想されます。編集長の取材も可能ですので、是非、ご紹介いただければ幸いです。

※日本ABC協会2014年上半期(2014年1~6月)雑誌発行社レポートより

※本ランキング詳細は、『田舎暮らしの本』2月号(2014年12月29日発売)に掲載しています。
見本誌も用意できますのでお気軽にお問い合わせください。

《総合ランキング1位~5位》

- 第1位 大田市(島根県)
- 第2位 鳥取市(鳥取県)
- 第3位 豊後高田市(大分県)
- 第3位 薩摩川内市(鹿児島県)
- 第5位 武雄市(佐賀県)

《部門別ランキング》

- ◆子育て世代にぴったりの田舎
 - 第1位 伊那市(長野県)
- ◆シニア世代が暮らしやすい田舎
 - 第1位 武雄市(佐賀県)
- ◆週末に通える田舎
 - 第1位 館山市(千葉県)

『田舎暮らしの本』は、1987年に創刊した“日本で唯一”の田舎暮らし月刊誌です。全国各地の物件情報や、田舎暮らしに必要なハウツーを紹介。お仕事情報など、実際の移住者レポートを交え、田舎暮らしに役立つ具体的な情報を発信しています。



田舎暮らしが楽しめる場所はたくさんありますが、人気は一部に偏っています。そこでこのランキングでは、客観的なデータに基づいて、田舎暮らしに最適な自治体をご紹介します。地域の魅力発見にもお役立てください。

『田舎暮らしの本』編集長

柳 順一(やなぎ・じゅんいち)

1969年神戸市生まれ。1993年宝島社入社。『田舎暮らしの本』、パソコン本、『別冊宝島』などの編集部を経て2008年6月より現職に。



